

Title	流通業におけるグループ視点からの新規事業戦略の方向性について
Sub Title	
Author	小倉正一(Ogura, Masakazu) 太田, 康信
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2000
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2000年度経営学 第1584号 連絡が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002000-1584

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論 文 要 旨

所属ゼミ	太 田 研 究 会	学籍番号	8 9 9 2 8 2 5 7	氏名	小 倉 正 一
<p>(論文題名)</p> <p style="text-align: center;">流通業におけるグループ視点からの新規事業戦略の方向性について</p>					
<p>(内容の要旨)</p> <p>本論文は、流通業であるジャスコグループ即ちイオングループに関して、グループを取り巻く現状及び今後の状況を踏まえて、グループ経営基盤強化の観点からの研究である。具体的には、グループ経営における今後の金融サービス事業戦略の方向性に関する企画・提言である。</p> <p>プランを検討するに当たり、その視点としてグループ全体における収益性と流動性の両面からその方向性を探ることとした。</p> <p>前者のグループ収益性の改善に向けた対応策としては、「グループ視点でのロイヤルティ・マーケティング」及び「グループ視点での新たな金融サービス」という2つのテーマを掲げて検討を行った。各々の検討に当たっては、欧米流通業の先行事例、関連文献、研究セミナー等によるベストプラクティス情報をベースとして行い、イオングループとしての基本戦略を構築した。</p> <p>一方、後者のグループ流動性の改善に向けた対応策に関しては、「グループ視点での金融機能のあり方」について言及した。</p> <p>また、上記3つの検討項目に対する仮説検証プロセスにおいては、シミュレーションモデルを作成し、各々の方向性に対する効果度合いを検証した。</p> <p>そして結論では、イオングループにおける今後の金融サービス事業戦略の方向性についての具体的な展開パターンを明示した。</p>					